

第19期 第5回 男女共同参画推進懇談会 会議要録

- 1 日時 令和元年5月31日(金) 午前10時~11時30分
- 2 場所 区役所本庁舎20階 交流会場
- 3 出席者 松井会長 井上副会長 岩脇委員 大橋委員 川人委員 小林(明)委員
小林(澄)委員 木谷委員 楠井委員 吉田委員 佐藤(良)委員 西委員
山内委員 鷲尾委員 岩本委員 堀委員 小西委員
事務局職員(人権・男女共同参画課長 男女共同参画担当係長 男女共同参画担当係員) 計画策定支援事業者(株式会社コモン計画研究所)
- 欠席者 佐藤(敦)委員 藤多委員 持田委員 石塚委員 丸田委員 河原委員 濱田委員
- 4 公開の可否 公開
- 5 傍聴者 1名
- 6 議題
 - (1) 会長 開会のあいさつ
 - (2) 議題
第4回男女共同参画推進懇談会の会議要録(案)について(資料1)
「第4次練馬区男女共同参画計画」平成30年度事業実施状況について
(資料2、資料3-1、資料3-2、資料4)
第5次練馬区男女共同参画計画策定について(資料5、参考)
 - (3) 報告事項
「審議会等の女性の任用状況」の調査結果について(資料6)
 - (4) その他
次回会議の日程
日時: 令和元年9月13日(金) 午前10時~12時
会場: 本庁舎5階 庁議室
その他
- 7 配布資料
 - 資料1 第4回男女共同参画推進懇談会の会議要録(案)
 - 資料2 第4次練馬区男女共同参画計画の点検・評価について
 - 資料3-1 第4次練馬区男女共同参画計画 目標別 重点取組の実績と評価一覧
 - 資料3-2 第4次練馬区男女共同参画計画平成30年度事業実施状況
 - 資料4 第4次練馬区男女共同参画計画 目標別 指標と調査結果
 - 資料5 第5次練馬区男女共同参画計画(令和2年度~6年度)策定スケジュール
 - 参考 練馬区の人口等に関する状況
 - 資料6 「審議会等の女性の任用状況」の調査結果

8 会議の概要

○開会

会 長 第5回練馬区男女共同参画推進懇談会(以下「懇談会」)を開催する。まず事務局が出席状況と傍聴者の報告及び配布資料の確認、事務局・事業者の紹介を行う。

- 事務局：出席状況報告、配布資料確認、事務局・事業者の紹介
事業者は計画策定にかかわる諸課題・国や他自治体の動向等の調査、資料作成支援等の業務を行い、今年度の会議に出席する旨の説明

議事

会 長 それでは議題に入る。

議題 第4回男女共同参画推進懇談会の会議要録(案)について

会 長 第4回男女共同参画推進会議要録(案)を既に配付しているが、事前の訂正連絡等はなかった。この場あるいは直後に訂正連絡があった場合、誤字程度の小さな修正は事務局で修正し、大きな修正は懇談会で確認してから修正する。特になければこのまま確定し、練馬区ホームページに掲載される。

- 訂正なし

議題 「第4次練馬区男女共同参画計画」平成30年度事業実施状況について

会 長 「第4次練馬区男女共同参画計画」平成30年度事業実施状況について事務局から説明をお願いします。

- 事務局：資料2、資料3-1、資料3-2、資料4を説明

会 長 質問や意見はあるか。

委 員 資料3-1において何点が質問したい。まず、目標 施策1 重点取組 区の審議会等委員への女性の積極的な登用に関して、評価は課題が残ったとなっているが、課題が残った理由とその課題をどのように受け止めているのか、ご説明いただきたい。次に、目標 施策3 重点取組 若年女性に向けての支援の所管課見解の2つ目、女子会企画への支援について、人的支援なのか、金銭的支援なのか、どのような支援を想定しているか、ご説明いただきたい。最後に、目標 施策1 所管課見解の3つ目、区民企画講座「あなたの妊娠率知っていますか? ~後悔しない人生設計~」に関して、区民が企画を設定していると思うが、どのような視点の講座なのかご説明いただきたい。題名だけ見ると、女性蔑視に受け取られてしまうこともあると思うので、何を意図しているのか中身をお聞きしたい。

会 長 1点目の審議会等委員への女性の積極的な登用に関しては、後ほど「審議会等の女性の任用状況」の調査結果についてでも扱うので、今は答えられる範囲で回答をお願いします。

事務局 まず1点目に関して、区としては審議会等の男女比率50%を目標に設定している。従って、庁内の審議会や会議体を所管している課には、できるだけ男性と女性の委員数を同じにするよう依頼しているが、その内の学識経験者や各団体からの推薦委員に関して、どちらの性別の方を推薦して欲しいと限定してお願いすることは難しい状況がある。その一方で、公募委員は目標の50%に近づいており、各所管課においてそれぞれ努力していると認識している。

次に2点目の女子会企画への支援については、若年女性のためのわたしの『これからライフ』講座の終了後に、まだ話したい人がいた場合、コーディネーターも含めて場所の提供をしている。さらに、講座以外で集まって何かしたいと申し出があったため、場所を提供するとともに、えーのボランティア登録団体の中から、関連する団体とつながるように支援を行っている。金銭的な面の支援は難しい部分があるが、若年女性自身で会を催せるよう、今後どのようなかたちで希望にそえるのかを探りながら支援をしていきたい。最後に3点目の区民企画講座「あなたの妊娠率知っていますか？～後悔しない人生設計～」(以下、「あなたの妊娠率知っていますか?」)についてご説明する。区民企画講座は、応募の際に受講者にわかる範囲の内容で企画していただくよう、区で一定の基準を設けている。「あなたの妊娠率知っていますか?」については、まだ企画段階であり、具体的な内容は今後詰めていく予定である。

会 長 私も「あなたの妊娠率知っていますか?」に関しては、資料3-2のp.27 性的マイノリティの方への情報提供および区民への啓発の部分にもこの講座の記載があり、疑問に思った。趣旨に関しては、科学的エビデンスに基づいているのか再度検討していただき、仮にエビデンスがあったとしても、強制的な言い方、圧力をかけるような企画にならないよう十分な配慮をして欲しい。

事務局 主催者と内容確認し、有意義な講座となるよう努める。

会 長 他に何かあるか。

委 員 私も「あなたの妊娠率知っていますか?」に関して気になるところがある。妊娠率を女性だけの問題にしてほしくない。男性によって妊娠率が下がるというデータもあるので女性だけの講座にしないで欲しい。間違ったエビデンスが出回らないように、事前にチェックをして欲しい。

委 員 会長も指摘していたが、資料3-2のp.27 性的マイノリティの方への情報提供および区民への啓発の部分に、なぜこの講座が記載されているのか回答いただきたい。

委 員 資料3-2のp.31 各年代における健康に関する意識啓発のところにも同じ講座が記載されているので、単純な誤りではないか。

委 員 これについては確認し、然るべきところに記載の修正を検討し、その結果の報告をお願いします。

委 員 今年度の区民企画講座の一覧が MOVE に掲載されている。その中の「自分らしく生きるために～多様な性を切り口に考える～」は性的マイノリティの方を迎えて企画した講座なので、この講座をp.27 に記載して欲しい。それから、資料3-1 目標 施策3 重点取組 男女共同参画応援サイトの新設について、応援サイトはえーのHPに比べると内容が薄く、相乗効果もあまり見られない。応援サイトから区民が本当に必要としている情報が提供できているのか、懇談会だけでなく、区民などからもっと広くご意見を募ると良いと思う。さらに、昨年も同様の議論があったが、資料3-1や3-2のような事業実績の資料について、研修の具体的な内容が記載されていないので、工夫をしていただきたい。例えば、資料3-1のp.1の目標 施策1の人権研修会は、実際どういう研修が行われ、その研修を基に各学校で実際にどういう取組をしたのか、また、アンケート等を実施したのなら、どのような反応や効果

があったのか、今後の取組についてもわかると良いと思う。また、平成 30 年度の実績に書かれている事業について、毎年継続して実施している事業なのか、新しい事業なのか区別できない。例えば、先ほどの人権研修会は毎年やっているものなのか、新しいものなのか、色分けなどするとわかりやすいと思う。今後、資料を作成する方向性として、参考にさせていただきたい。最後に、資料 3-2 p.3 の家庭や地域に関する講座の場合、育児休暇中のお母さんたちは 0 歳児を抱えていると、講座に参加しづらい状況がある。可能な限り 0 歳児を受け入れていただける施設を用意していただき、講座を受けることができればと思う。

会 長 事業実績の資料について、毎年、評価の形式について工夫をしていただいていると思う。次に活かせる資料として、ご意見を踏まえてさらに検討していただきたい。応援サイトや SNS については、懇談会において議題を立てて議論する時間をとることは難しいかもしれないが、委員の意見を募ったり、有志のプロジェクトチームをつくって取り組むなど、まだまだ改善の余地があるのではないかと考える。それでは、事務局から回答しておいた方が良い内容等があれば、回答をお願いします。

事務局 事業実績の資料について、いただいたご意見等も踏まえ、具体的な内容がわかるように努め、評価方法や講評の仕方もさらに検討していきたい。それから、0 歳児をお預かりして講座を受講してもらうことは、現状では難しいと考えるが、今後検討していきたい。

議題 第 5 次練馬区男女共同参画計画策定について

会 長 第 5 次練馬区男女共同参画計画策定について事務局から説明をお願いします。

- 事務局：資料 5、参考資料を説明

会 長 スケジュールに関して補足すると、9 月まで懇談会の開催がないのは、庁内において計画素案の前段階で練り直すことに時間がかかるため、9 月までに懇談会のスケジュールを組むことが難しいからである。しかし、12 月下旬にはパブリックコメントを実施する必要があり、このスケジュールでいくと 9~11 月は非常に慌ただしくなるので、それを補うために、8 月に計画素案のたたき台を委員に送り、FAX・郵送等で意見徴収させていただく。いただいたご意見を踏まえて 9 月の懇談会を開催する予定である。また、参考資料の練馬区の人口等に関する状況は、練馬区の姿をみるのに良いと思うのでご活用いただきたい。それでは、質問や意見はあるか。

委 員 昨年度は、テーマごとに分科会があったが、今年度は懇談会の中であくまでも個人として、計画のたたき台に意見を述べるということで良いか。

会 長 少し記憶があやふやなので、事務局に確認していただきたいところであるが、平成 27 年度の前回の計画策定時も分科会形式はとっていなかったと記憶している。今回はスケジュール的にも厳しく、懇談会として第 5 次練馬区男女共同参画計画策定に向けての提言を出し、それに基づき事務局が中心となって計画の素案を作成していただくので、分科会形式はとらずに進めたいと思う。他に何かあるか。

委 員 全体的なスケジュールは理解した。男女共同参画計画はどの段階で議会に報告するのか、区長決定の後、議会で議論され修正されるのか、オーソライズされた最終的な段階はいつになるのかを教えていただきたい。

事務局 まず、素案をまとめた段階で11月の議会に報告し、議会の意見をいただく。そして12月にパブリックコメントを実施して区民から意見を聴取する。さらにまとめたものを1月の懇談会で審議して案を作成する。3月の早い段階で議会にその案を報告し、必要な修正をして、最後に区長決定される。議会への報告は2回を予定し、区長決定されたものがオーソライズされた最終的なものである。

報告事項

報告事項 「審議会等の女性の任用状況」の調査結果について

会長 続いて報告事項に入る。「審議会等の女性の任用状況」の調査結果について事務局から説明をお願いします。

- 事務局：資料6を説明

会長 質問や意見はあるか。

委員 女性の任用率を見ると、0%の審議会等がある。非常に深刻な問題で、できるだけというよりもっと厳しく女性の参画を推進していくべきだと考える。

委員 定数が少ないところはある程度仕方がないにしても、定数が多いにも関わらず女性が少ないのは問題である。例えば、重点的な審議会を位置付けて、女性委員の割合を50%にするなど、ポジティブアクションをして努力していただきたい。災害医療運営連絡会や緑化委員会などは女性の任用率が低いと、困ったことになると思う。また、先ほどの学識経験者や各団体からの推薦委員において、男性の割合が高くなる傾向があるという話であれば、区民公募委員の方で女性を7割、8割にするというポジティブアクションが必要だと思う。

事務局 審議会等はとても数が多く、男女共同参画推進懇談会が目指す意図と各審議会の所管課の考えが合致するかというところがある。こういった課題も検討していきたい。

会長 他に何かあるか。

委員 任用状況も、将来的には男性・女性の2通りではなく、その他などを加えるように変えるべきだと思う。

会長 区の審議会等の女性委員の割合を、目標とする50%に近づけていくことは大切だが、そもそも女性委員数が0人だと女性の声が届かないという状況になるので、引き続き努力していただきたい。

その他

その他 次回会議の日程

会長 次回の開催日時は、9月13日(金)午前10時から正午、会場は区役所5階庁議室となる。

その他 えーるフェスティバルについて

- 事務局：えーるフェスティバルについて説明
- 副会長から閉会のあいさつ